

令和 6 年 度

事業報告書

社会福祉法人ときわの杜 本部

令和 6 年度社会福祉法人ときわの杜法人本部事業報告

<大規模修繕工事>

令和 6 年度の社会福祉法人ときわの杜は、人件費増大及び諸物価高騰による経費増大のため、3 施設とも困難な運営を迫られました。この中、特別養護老人ホームときわの杜では、設備の老朽化が進んだことによる大規模修繕事業を国補助導入で改修できたことは利用者の安心安全な生活を担保する上で大変重要でした。

<BCP 関係>

また、BCP 業務継続計画が令和 6 年 4 月から義務化されたことに伴い各施設とも大規模災害時及び新型コロナ感染症発生時の業務継続計画を策定し、ひまわり荘はこれに基づく非常用電源設備工事を国県補助で完了しました。その他施設でも BCP 対策事業の具体的な検討に入っており、法人としては、大規模災害時の緊急連絡網を確実に運用するための全職員自動通報システムと、法人施設・職種間の連携統制をデジタル化するイントラネット（ポータルサイト）の導入検討を進めました。

<新型コロナ>

この折、約 3 年にわたって続いた新型コロナ禍も終息しつつありましたが、令和 6 年度には 2 施設で合計 5 回にわたり拡大発生し利用者 37 名が陽性診断と治療を受ける結果となり、施設運営にも大きな支障が出たことから、感染症対策は引き続き大きな課題となりました。ときわの杜では空気清浄機導入の検討を進めました。

<広報戦略>

なお、3 施設とも施設福祉から地域福祉へ政府方針が転換する中、社会動向に即し DX デジタル化などを導入した効率効果的な新しい運営も迫られておりますので、法人可視化の一環として新たに法人ロゴとモットーの制定を進め、法人の全公用車にマグネット式ステッカーを装着しました。また公式ホームページ活性化のため、3 施設の広報委員が自主的に施設情報を発信しました。この中で SNS 動画配信の準備を進めました。

<給与改定と人材確保>

現今の社会情勢を反映し福祉人材難は深刻な状況にあるため、賞与と給料月額の配分比率を修正する改定を 7 月に実施し福祉人材の募集で一定の成果が出ることになりました。

<はまなす荘支援>

一昨年末から介護職員の離職が続き業務継続に支障が出ていたはまなす荘支援のため、ときわの杜、ひまわり荘から各 1 名、人員補充するまでの短期的応援を行いました。